

独立行政法人国立美術館国立アトリサーチセンター
 特定研究員(作品活用促進グループ) 公募要項

1. 職名及び人数	<p>特定研究員 1名 (A: 伝統的素材によらない新しい材質による立体作品の保存修復に対応した情報収集・発信担当)</p> <p>特定研究員 1名 (B: 電子機器や映像機器等を用いた作品の保存修復に対応した情報収集・発信担当)</p>
2. 採用予定日	令和8年10月1日(採用日は応相談)
3. 契約期間	期間の定め:有(採用日～令和9年3月31日) ※年度契約
4. 更新の有無	<p>契約の更新:有</p> <p>更新する場合があります。ただし、在職できる期間は採用日から5年を限度とする。</p> <p>更新は、予算の状況、従事している業務の進捗状況、契約期間満了時の業務量、勤務成績、勤務態度、健康状況等を考慮のうえ判断する。</p>
5. 試用期間	採用された日から6か月間
6. 就業場所	<p>国立美術館本部国立アトリサーチセンター(東京都千代田区九段北一丁目13番12号北の丸スクエア2階)(※ただし令和8年度内にオフィスを学術総合センター11階(東京都千代田区一ツ橋2-1-2)に移転予定)</p> <p>変更の範囲:上記のほか法人の指定する在宅勤務を行う場所。ただし、組織の改廃その他の事由により就業の場所を変更することがある。</p>
7. 業務内容	<p>国立アトリサーチセンター作品活用促進グループにおいて、「現代アート作品の保存修復体制強化事業」の管理運営及びそれに伴う研究業務については以下の業務を担当する。</p> <p>A: 伝統的素材によらない新しい材質による立体作品の保存修復に対応した情報収集・発信担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外の現代美術作品の保存修復に関する最新の動向の調査、海外の保存修復関係者とのネットワークの構築及びそこで得られた情報の紹介 ・国内外の修復家を招聘しての講演会やワークショップの企画立案、実施及びその報告 ・国内で個別に取り組まれている現代美術作品の修復事例の調査と共有 ・国立美術館コレクションについて、外部の機関と協力してのX線や赤外線等を用いた科学調査の推進とその成果発信 <p>B: 電子機器や映像機器等を用いた作品の保存修復に対応した情報収集・発信担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外の現代美術作品の保存修復に関する最新の動向の調査、海外の保存修復関係者とのネットワークの構築及びそこで得られた情報の紹介 ・国内外の修復家を招聘しての講演会やワークショップの企画立案、実施及びその報告 ・国内で個別に取り組まれている現代美術作品の修復事例の調査と共有 ・国立美術館コレクションについて、外部の機関と協力してのX線や赤外線等を用いた科学調査の推進とその成果発信 <p>変更の範囲:業務上の必要により配置又は業務を変更することがある。</p>

8. 就業日 ・就業時間	<p>■勤務日(時間):月曜日～金曜日(1日7時間45分)</p> <p>■勤務時間:9:30～18:00(休憩時間45分含む)</p> <p>■業務の都合上、時間外勤務及び休日の勤務を命ずることがある(休日勤務については代休を付与)</p> <p>■勤務日及び勤務時間については、相談のうえ変更する場合がある。</p>
9. 休日	<p>土・日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)</p> <p>※ただし、1ヶ月(4週間)単位の変形労働時間制により、業務の必要に応じて休日に勤務を割り振る場合がある。</p> <p>その他、独立行政法人国立美術館就業規則等による。</p> <p>https://www.artmuseums.go.jp/corporate_info/gyoumu/kisokusyu/jinji(国立美術館HP参照)</p>
10. 休暇	<p>年次有給休暇、特別休暇 等</p>
11. 賃金等	<p>独立行政法人国立美術館特定有期雇用職員の就業に関する規則等による。</p> <p>https://www.artmuseums.go.jp/corporate_info/gyoumu/kisokusyu/jinji(国立美術館HP参照)</p> <p>■基本給+地域手当:540,000円/月</p> <p>■諸手当:通勤手当(原則 55,000円/月 まで)の他、本法人の定めるところによる。</p>
12. 加入保険、 福利厚生等	<p>国家公務員共済組合保険(健康保険・年金)、雇用保険、労災保険に加入</p> <p>育児休業制度、介護休業制度</p> <p>(株)ベネフィット・ワンと提携した各種サービス利用可(2026.6月現在)</p>
13. 応募資格等	<p>(A:伝統的素材によらない新しい材質による立体作品の保存修復に対応した情報収集・発信担当に求める応募資格等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院で美術史、芸術学又は保存修復もしくは保存科学に関わる研究分野を専攻し、修士課程(博士課程前期)修了以上の者、もしくはこれと同等以上の専門知識を有する者 <p>(B:電子機器や映像機器等を用いた作品の保存修復に対応した情報収集・発信担当に求める応募資格等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学もしくは専門学校等で電子機器や映像機器を用いた美術作品の制作や保存修復に関わる分野を専攻し、卒業した者、もしくはこれと同等以上の専門知識を有する者 <p>(A・B 共通の応募資格等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術館その他の文化施設での実務経験をおおむね5年以上有する者 ・文章作成、読解、日常会話に必要な英語能力を有する者が望ましい(TOEIC、TOEFL などの受験経験者は、その点数を明記すること)
14. 選考方法	<p>○第1次選考 書類選考</p> <p>第1次選考後、合否に関わらず令和8年8月14日(金)までに選考結果をメールにてご連絡します。合格者へは同メールにて第2次選考の詳細をお知らせします。</p> <p>○第2次選考 個別面接 令和8年8月中旬～下旬(予定)</p> <p>場所:東京国立近代美術館</p>

15. 応募書類	<p>(1) 履歴書(別紙様式1、写真又は画像貼付) ※電話番号及びメールアドレスを必ず記入すること。 ※「その他特記事項」欄に「特定研究員(作品活用促進グループA)応募」又は「特定研究員(作品活用促進グループB)応募」と記入すること。</p> <p>(2) 卒業証明書、成績証明書(専門学校又は大学学部以上の全て) ※応募時にPDF等データによる提出とした場合は、採用後に原本の提出をお願いすることがありますので、原本は採用までお手元で保管してください。</p> <p>(3) 研究業績及び職務経歴調書(別紙様式2)</p> <p>(4) 卒業論文又は主たる論文があれば1点とその要約</p> <p>(5) 小論文 応募する分野を「A:新しい材質による立体作品の保存修復」、「B:電子機器や映像機器を用いた作品の保存修復」、のどちらかから選び、自身の具体的な経歴(特に美術作品の保存修復に関する実務経験)を踏まえて、以下のテーマについて論じてください。 テーマ:「現代美術の保存修復に関して我が国が現状かかえている課題と、その解決に向けて自身が取り組んでみたいことについて」 ※A4版1枚程度(図表等を含む)。手書き不可。</p>
16. 応募締切	令和8年8月1日(土)12:00【メール・郵送ともに必着】
17. 応募方法及び問い合わせ先	<p>原則として①の方法で上記応募書類を送付してください。①の方法にて応募書類を送付するのが難しい場合は②の方法により送付してください。</p> <p>①下記メールアドレスに応募書類のPDFデータを添付し、送信 E-mail:saiyou-at-artmuseums.go.jp (-at- は、@に置き換えてください。) ※件名に【特定研究員(作品活用促進グループA)応募】又は【特定研究員(作品活用促進グループB)応募】と記載すること。</p> <p>②下記住所に応募書類を郵送 郵送の場合は、封筒に「特定研究員(作品活用促進グループA)応募」又は「特定研究員(作品活用促進グループB)応募」と朱書きし、簡易書留等受領の確認ができる方法により送付すること。 〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園 3-1 独立行政法人国立美術館本部事務局人事課 TEL 03-3214-2583(電話による問い合わせは祝日を除く月～金[9:30～18:00]に限る。)</p>
18. 募集者名称	独立行政法人国立美術館
19. 受動喫煙防止措置の状況	敷地内禁煙
20. その他	<ul style="list-style-type: none"> ・取得した個人情報は、本人事選考以外の目的には利用しません。 ・応募書類等は一切返送いたしませんのでご了承ください。